

③ 心身障害者コロニーの再編整備

愛知県心身障害者コロニー(以下「コロニー」という。)は、昭和43年6月に心身の発達に障害のある人が明るく幸せな生活を営むことができるよう、療育、医療、教育、授産、職業訓練等を行うとともに、心身の発達障害の原因探求や治療・予防のための研究をし、障害の程度とライフステージに応じた体系的かつ有機的な支援を行うための総合的な福祉施設として、春日井市内に設置されました。

その後、平成5年の障害者基本法の改正、平成14年に策定された国の障害者基本計画、平成17年に成立した障害者自立支援法(現在の障害者総合支援法)などにより、障害福祉のあり方は、「施設福祉」から「地域福祉」へ、また、障害のある人たちの地域生活における自立に向けた支援へと大きく変化してきました。

その一方で、コロニーでは、入所者の高齢化・障害の重度化が進み、入所期間が長期化し、入所者に対する地域での自立に向けた支援が難しくなってきました。

こうしたことから、平成19年3月に、平成18年度から27年度までの10年間を計画期間とする、「愛知県心身障害者コロニー再編計画」を策定し、コロニーを入所者の地域生活における自立を実践するため、地域生活移行を計画的に推進し、地域生活を営む障害のある人たちを総合的にサポートする、医療支援及び療育支援の拠点施設(療育医療総合センター(仮称))へ転換していくこととしました。

さらに、平成23年11月に策定した「愛知県地域医療再生計画」において、コロニーを県内の発達障害医療の拠点施設として、また小児・周産期医療の後方支援を担う施設として位置付け、あいち小児保健医療総合センターとの機能再編(あいち小児センター心療科のコロニーへの統合)を行い、障害児者医療の拠点として整備を進めていくこととしました。

また、「愛知県地域医療再生計画」では、発達障害者に対する医療体制を確立するため、コロニーを中心とした「発達障害医療ネットワーク」及び、障害のある人が地域で安心して生活できる体制を構築するため「重心療育ネットワーク」を構築していくこととしています。

平成25年度は、療育医療総合センター(仮称)の実施設計を行い、平成26年度から建設工事に着手していきます。なお、工事期間が長期に及ぶことが見込まれることから、先行して完成する重症心身障害児者病棟等について、平成27年度中の一部供用開始を目指していきます。

<コロニー再編整備の概要>

現行（心身障害者コロニー）	改築後（療育医療総合センター）																																						
<p>中央病院（S45年開設）</p> <p>◆許可病床175床（一般150床、精神25床）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病種</th> <th>内科混合</th> <th>内科系</th> <th>外科系</th> <th>外科系</th> <th>精神科</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>175</td> </tr> </tbody> </table> <p>（新生児センターはH22.7から廃止）</p> <p>こばと学園（医療型障害児入所施設）（S43年開設）</p> <p>◆入所定員180人（5病棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短期入所は空床利用 	病種	内科混合	内科系	外科系	外科系	精神科	計	病床数	40	40	35	35	25	175	<p>医療支援部門（病院部門・重心部門）</p> <p>◆267床</p> <p>病院147床（一般122床、精神25床）</p> <p>重心120床（うち短期入所10床（空床型））</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟名</th> <th>外科系</th> <th>内科系</th> <th>精神科</th> <th>心療科</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床数</td> <td>44</td> <td>45</td> <td>25</td> <td>33</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>病棟名</td> <td colspan="5">重心病床（常時濃厚な医療を要する重症心身障害児者）</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>40</td> <td>40</td> <td>40</td> <td></td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・あいち小児保健医療総合センター心療科を統合 ・重心：常時濃厚な医療を要しない入所者は、民間法人の整備した施設等へ移行。 	病棟名	外科系	内科系	精神科	心療科	計	病床数	44	45	25	33	147	病棟名	重心病床（常時濃厚な医療を要する重症心身障害児者）					病床数	40	40	40		120
病種	内科混合	内科系	外科系	外科系	精神科	計																																	
病床数	40	40	35	35	25	175																																	
病棟名	外科系	内科系	精神科	心療科	計																																		
病床数	44	45	25	33	147																																		
病棟名	重心病床（常時濃厚な医療を要する重症心身障害児者）																																						
病床数	40	40	40		120																																		
<p>発達障害研究所（S47年開設）</p> <p>◆7学部</p>	<p>医療支援部門（研究部門）</p> <p>◆5部門（学部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容を「知能」と「こころ」の2領域に大別し、より臨床研究に重点を置く。 																																						
<p>緑の家（短期母子療育施設）（S46年開設）</p> <p>◆親子療育 8室</p> <p>◆あいち発達障害者支援センター（H15年開設）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害のある人への支援、県民への啓発 	<p>地域療育支援部門</p> <p>◆短期の入所支援施設 利用定員 37人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18歳未満の知的障害児を短期で受入れ（33人） ・親子療育定員（4人）を併設 <p>◆あいち発達障害者支援センター</p>																																						
<p>はるひ台学園（福祉型障害児入所施設）（S43年開設）</p> <p>◆定員80人</p>																																							
<p>養楽荘（障害者支援施設）（S44年開設）</p> <p>◆定員140人</p>	廃止																																						
<p>春日台職業訓練校（S44年開設）</p> <p>◇入所定員100人</p>	<p>春日台職業訓練校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設連携施設として引き続き運営 																																						
<p>春日台養護学校（S44年開設）</p> <p>◇生徒児童数445人（H26.4.1）</p>	<p>春日台養護学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設連携施設として引き続き運営 																																						

④ 第二青い鳥学園の再整備

愛知県立心身障害児療育センター第二青い鳥学園（以下「第二青い鳥学園」という。）は、岡崎市本宿町地内に所在し、肢体不自由児の入所・通所機能の他、外来診療機能を備えて運営していますが、昭和 39 年の開所以来 50 年余が経過し、施設の老朽化が著しくなっています。

また、重症心身障害児者施設は名古屋市及び尾張地域に集中し、三河地域では施設が不足している状況にあります。第二青い鳥学園が所在する三河地域には、平成 23 年 12 月現在、771 人の重症心身障害児者がみえ、そのうち 614 人の方が在宅で生活されています。

<県内の重症心身障害児者数>

(H23. 12. 31 現在)

区分	名古屋市	尾張	海部	西三河	東三河	計 (うち三河地区)
重症心身障害児者数	964 人	909 人	92 人	509 人	262 人	2,736 人(771 人)
うち在宅人数	695 人	771 人	64 人	406 人	208 人	2,144 人(614 人)

こうしたことから、現在、第二青い鳥学園は岡崎市高隆寺町地内において、移転による再整備を進めており、新たに重症心身障害児者の入所機能を付加し、平成 27 年度の開所を目指しています。



施設構成		
区分	機能	内容
入所	医療型障害児入所施設 療養介護事業所	肢体不自由児 50名(現行 120名)
		重症心身障害児者 90名(新設)
通所	医療型児童発達支援センター	通所定員 20名(現行 20名)
医療	外来診療、検査、手術、リハビリ	標榜診療科 11科(現行 5科)

<資料：第二青い鳥学園の改築整備について 愛知県健康福祉部障害福祉課 HP>

⑤ 重症心身障害児者施設の整備促進

本県においては、重症心身障害児者が利用できる入所施設が、全国に比べて少ない状況にあるため、地域や在宅での生活において適切な医療や療育の支援が受けられる体制づくりを進めるとともに、地域や在宅での生活の維持が難しい方には、できるだけ身近な地域で重症心身障害児者施設を整備することが、喫緊の課題となっています。

現在、県内に重症心身障害児者施設は4施設あり、その全てが国または本県により設置されていますが、全国的には、重症心身障害児者施設の約半数は民間法人により設置されている状況です。

<全国の重症心身障害児施設の整備率>

(H26.4.1現在)

区分		東京	神奈川	大阪	兵庫	三重	岐阜	静岡	愛知	全国
定員	公立公営	290							180	595
	公立民営	344	80	50					120	1,278
	民立民営	579	474	705	698	40		245		10,620
	国立病院機構	60	120		210	170	140	352	90	7,739
	合計	1,273	674	755	908	210	140	597	390	20,232
整備率		0.96	0.74	0.85	1.63	1.15	0.68	1.60	0.52	1.59
全国順位		41	45	43	31	39	46	32	47	—

※ 整備率は人口1万人あたりの定員数（人口は25年10月1日総務省推計人口）

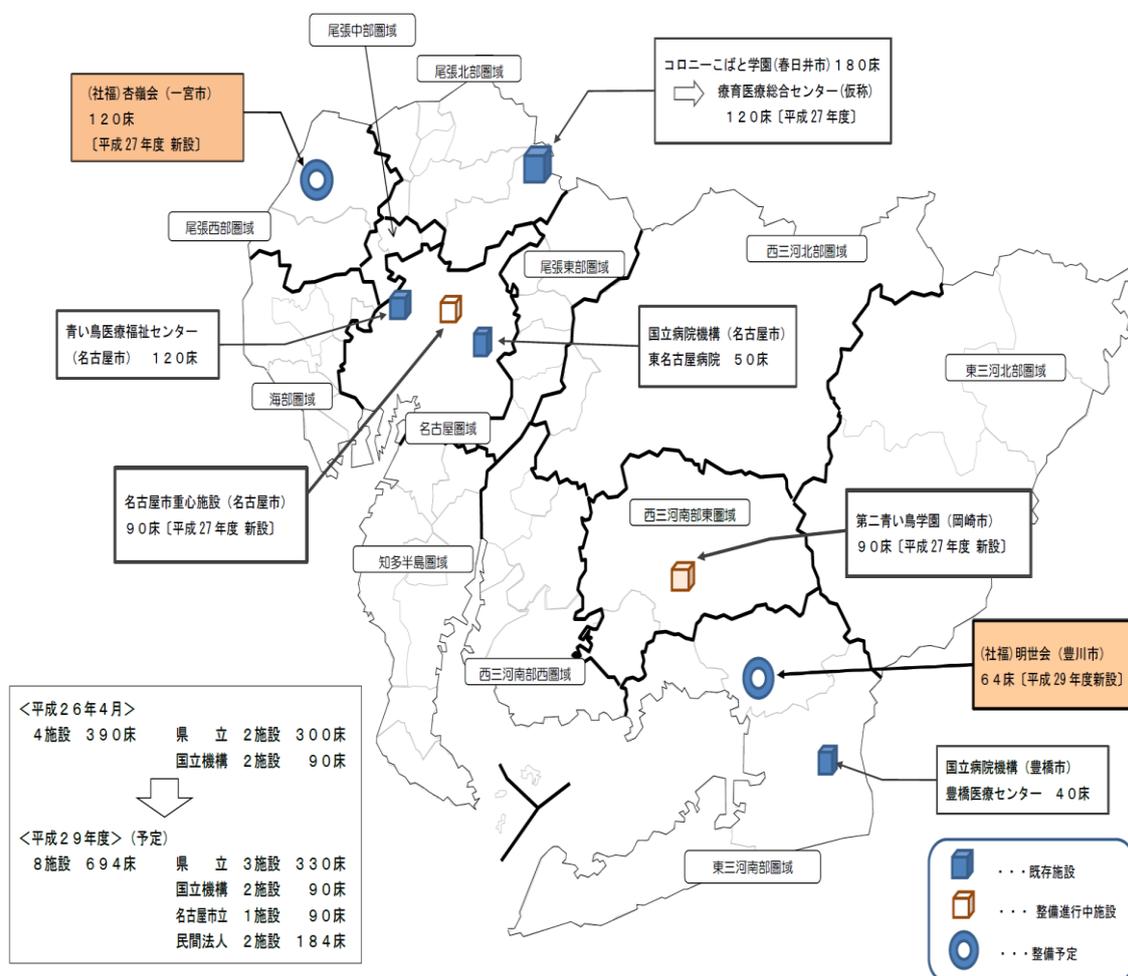
このような状況を踏まえ、幅広く県内外の社会福祉法人や医療法人に対して、重症心身障害児者施設の設置に関する協力要請と整備意向調査を行った結果、県内で初めてとなる民間法人による重症心身障害児者施設の設置が、平成27年度開所を目指して一宮市内において進められることとなりました。

さらに、豊川市内においても、県有地を活用した重症心身障害児者施設の整備法人を決定し、今後、平成29年度開所に向けた整備が進められます。

現在、県内の重症心身障害児者施設の入所定員数は 390 名ですが、今回の民間法人による施設の設置と愛知県が進めている「第二青い鳥学園」の再整備、並びに名古屋市が整備を進めている施設などの定員数を合わせ、平成 29 年度の見込みとして、現在の約 1.8 倍の 694 名となります。

また、本県では、民間法人による重症心身障害児者施設等の整備促進を図るため、個人県民税均等割減税の所要額に相当する 30 億円を積み立てた「障害者福祉減税基金」を平成 26 年 4 月に設置して、施設の整備費に対する助成を行うこととしております。

<重症心身障害児者施設の配置計画>



取組を踏まえた今後の方向性

以上のように、障害のある人が身近な地域で必要な支援が受けられるよう、様々な取組を進めています。

平成 26 年度には、平成 27 年度から 29 年度までの 3 年間を計画期間とした第 4 期障害福祉計画を策定することとしており、今後も、障害のある人の地域生活を支えていくため、生活に基盤となる安心できる住居の確保や日常生活の支援とあわせて、重度の発達障害や重症心身障害など地域や在宅での対応が難しい場合でも、できる限り身近な地域で適切な療育や支援が受けられる体制の整備を進め、障害のある人が安心して暮らせる地域社会の実現に向けて、障害福祉サービス等の提供体制のさらなる充実を図っていきます。